

おのぐちけじゅうたく ■ D・4
小野口家住宅



小野口家は、江戸時代より名主を務めた旧家です。主屋を囲むように6棟の石造建造物（長屋門、前の蔵、旧乾燥蔵、旧堆肥舎、裏の蔵、旧酒蔵石塀）が並び、宇都宮近辺における典型的な豪農の屋敷構えを残しています。

各建物は、江戸時代の1825(文政8)年から明治・大正時代にかけて建てられ、この地区で産出される大谷石のほかに、通称「板橋石」(日光市板橋で採掘)・「徳次郎石」(徳次郎町で採掘)という石材を用いて造られ、デザイン面からも優れた建造物です。 ※見学は敷地外からお願いします

[平成11年10月14日 国登録]

石塀 [平成18年10月18日 国登録]

そうえんししまい ■ B・5
宗円獅子舞 [白枝神社]



この獅子舞は、平安時代の後期、宇都宮初代城主といわれる藤原宗円ゆかりのものとして伝えられています。

これは、獅子頭をかぶって舞う踊りで、町内安全、五穀豊穰、悪霊退散などの願いをこめて奉納されます。笛の音に合わせて、腹につけた小太鼓を打ち鳴らしながら雄2匹、雌1匹で舞う一人立三匹の獅子舞です。現在、毎年2回、お盆(8月16日)、8月最終日曜日に奉納が行われています。

[昭和32年1月12日 市指定]

きゅうおおやこうかいどう ■ D・5
旧大谷公会堂



旧大谷公会堂は、昭和初期に旧城山村の公会堂として建築され、その後在郷軍人会館や宇都宮市城山出張所として利用され、現在は宇都宮市の倉庫となっています。地元産の大谷石を構造体とした平屋建築で、屋根は当初桧瓦葺であったと思われ現在はスレート葺です。設計は、本県で初の建築設計事務所を開設した更田時蔵氏です。建物の特徴は、正面妻側の4本の付け柱(ピラスター)で、柱にはロマネスク建築に用いられている幾何学的な文様が彫り込まれています。特に中央の2本の柱は、通しの形となっていて、小屋組は、洋小屋(キングポスト)で組んであります。

※外観の見学のみとなります

[平成16年2月17日 国登録]

たげじょうせき ■ C・4
多気城跡



ここ多気山には、多気城と呼ばれる山城がありました。この城は、戦国時代の終わりには、小田原の北条氏の進出に備えるための堅固で規模の大きな山城に整備され、宇都宮氏の軍事的な本拠地になったといわれています。

現在、この城跡には、御殿平と呼ばれる多気山の頂上を中心に、多くの堀・土塁や曲輪と呼ぶ平坦な区画の跡が、山全体に見られます。さらに山のすそには、全長およそ2kmにおよぶ大きな堀も残っており、北関東屈指の規模をほこる山城といえます。

びょうふいわせきざい いしぐら ■ D・5
屏風岩石材 石蔵(西藏、東蔵)2棟 附西藏棟札1枚
D・5



大谷石に洋風の意匠を刻んで丹念に積み上げた明治後期の本格的な石蔵で、堅牢・安定・均整・品格を備えた一級品です。

この二つの石蔵は大谷石を素材とした共通点を除いて対照的になっています。(西側と東側)用途は住まい(座敷蔵)と倉庫(穀蔵)、屋根は寄棟と切り妻、外壁は壁式(隅石)と柱型、窓廻りの付け柱は円柱と角柱、持ち送りは曲線と直線、小屋組みは和小屋と洋小屋、入口の庇は曲線と直線など興味深い建物です。 ※見学は敷地外からお願いします。

[平成18年8月22日 県指定]

おとめやま ■ D・5
大谷の奇岩群 (御止山)



凝灰岩の奇岩群が創り出した独特の風景は、江戸時代後期の紀行文をはじめ、版画、俳句などの芸術作品にも紹介されています。御止山は、姿川に沿った奇岩群の南端付近に位置します。大谷景観公園からと平和観音の展望台からの眺望に優れ、御止山の西側部に連なる奇岩の高さと広がりを見ることが出来ます。国の特別史跡・重要文化財である大谷磨崖仏は、ここから南へ延長したところに位置します。

[平成18年8月28日 国指定名勝]

わたなべけじゅうたく おもや ■ C・5
渡邊家住宅 主屋・西の蔵・表門



市内では数少なくなった江戸時代に造られた茅葺屋根の主屋を中心に両脇には地元特産の大谷石を用いた石蔵を配置し、かつて名主を務めた民家の屋敷構えを遺しています。

石蔵と表門の屋根には大谷石で造られた屋根が葺かれています。主屋と表門の柱には慶応4年の世直し一揆の襲撃による刀傷と伝えられる痕跡が残されています。

※見学は敷地外からお願いします

[平成15年12月1日 市認定]

おしじいわ ■ C・5
大谷の奇岩群 (越路岩)



姿川に沿った奇岩群の北端に位置し、姿川が東向きから南向きに流れを大きく変える地点の右岸にそびえる独立奇岩です。

前面の水田に水を配した、春先の代かきの時期には、あたかも奇岩が海面にそびえ立っているように見えます。また、岩体に松の木などが茂っている様子から、「陸の松島」と呼ばれ大谷の奇岩群をコンパクトに表している景観です。

[平成18年8月28日 国指定名勝]